

事業報告書

令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係
(引 受)

年産	共済目的	組合員数	引受面積	引受収量	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金または納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)
		人	a	kg	円	円	円	円	円
令和4年	水 稲	12,462	1,185,844	54,579,016		9,204,708,288	13,127,234	交 9,965 納 6,887,065	6,250,134
	陸 稲	2	216	4,051		700,823	35,708	納 22,240	13,468
	麦	159	96,337		382,700,607	342,835,502	9,404,683	納 1,478,558	7,926,125
	合計	延 12,623 実 12,502	1,282,397	54,583,067	382,700,607	9,548,244,613	22,567,625	交 9,965 納 8,387,863	14,189,727
令和5年	麦	149	94,982		366,173,436	327,726,215	8,833,700	納 1,399,865	7,433,835

(注) 麦については、当該年産に係るものと翌年産に係るものを記載する。

(被 害)

共済目的	被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共済金共済金額
	人	a	kg	円	%
水 稲	40	1,158	13,167	2,646,567	0.0
陸 稲	2	216	1,050	181,650	25.9
麦	115	67,268	782,463	57,936,219	16.9
合 計	延 157	68,642	796,680	60,764,436	0.6

【被害状況】

〔水稲〕

平年より稈長が長く生育したため、登熟期から収穫期にかけての断続的な風雨により倒伏した圃場が多く見受けられた。また、7月～9月の高温多湿により病害が発生し減収につながった。また、桜川市(真壁・大和地域)の中山間部においては、電気柵の設置等により被害防止に努めているものの、イノシシによる食害等が発生した。

〔陸稲〕

播種期の4月下旬から5月上旬にかけての気温、降水量共に平年並みに推移しており、初期生育は順調であったが、その後6月に入り梅雨期間が異常に短く降水量が極端に少なくなり、記録的な高温が続いたことから干害が発生した。これにより不稔粒等が発生し大幅な減収につながった。

〔麦類〕

発芽期から分けつ期の長雨や低温の影響により、莖数、穂数、一穂当たり稔実粒数がかなり少なく、水はけの悪い水田で湿潤害や凍霜害が発生した。また、出穂期以降の風雨により、倒伏し減収となった圃場が多く見受けられた。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
水 稲	2月21日	2,646,567	661,641	1,984,926				100
陸 稲	12月20日	181,650	94,812	13,468	73,370			100
麦	12月20日	57,936,219	26,004,557	7,926,125	24,005,537			100
合 計		60,764,436	26,761,010	9,924,519	24,078,907			100

(2) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	畑作物区分							
令和4年	大豆	40	25,064	294,263	45,022,239	2,873,581	1,596,428	1,277,153
	スイートコーン	69	10,447	825,876	164,522,731	3,828,997	2,127,209	1,701,788
	かぼちゃ	64	2,656	377,815	77,206,465	1,864,756	1,035,964	828,792
	合 計	延 173 実 165	38,167	1,497,954	286,751,435	8,567,334	4,759,601	3,807,733

(被 害)

項目	被害組合員数	共済金支払対象面積	共済減収量	共 済 金	共 済 金
					畑作物区分
大豆	11	4,711	16,003	2,448,459	5.4
スイートコーン	26	5,304	83,459	16,625,850	10.1
かぼちゃ	23	938	26,450	5,405,048	7.0
合 計	延 60 実 57	10,953	125,912	24,479,357	8.5

【被害状況】

〔大豆〕

8月中旬以降の周期的な低気圧の影響による降雨で風水害が発生した。これにより、滞水した圃場では肥大不足並びに変形粒・カビ粒・未熟粒・汚損粒が発生し減収につながった。

〔スイートコーン〕

5月27日に古河市の一部地域において降雹があり、茎葉が損傷したことで開花期であった圃場では受粉不良となった。また、6月の梅雨時期には降水量が少なかったことと、6月下旬からの連日の猛暑により、収穫期の子実が水分不足となり、規格外品となるものが見受けられ減収につながった。

〔かぼちゃ〕

5月27日に古河市の一部地域において降雹があり、茎葉及び果実に損傷を受けた。また、6月下旬からの連日の猛暑により、葉が適度に繁茂することが出来なかった圃場では、日焼けにより腐敗する果実やカビ・裂果が発生し減収につながった。

(支 払)

項目 畑作物区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
大豆	3月28日	2,448,459	1,958,767	489,692				100
スイートコーン	12月7日	16,625,850	13,300,680	1,701,788	1,623,382			100
かぼちゃ	12月7日	5,405,048	4,324,038	828,792	252,218			100
合 計		24,479,357	19,583,485	3,020,272	1,875,600			100

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)－(B)
		人	a	kg	円	円	円	円
令和3年	なし	177	8,217	2,041,059	397,698,000	11,110,118	9,842,302	1,267,816
令和4年	なし	165	7,347	1,798,529	381,851,000	10,594,527	9,385,555	1,208,972

(注) 当該年度の引受けに係るもののほか、過年度引受けに係るものでも、その責任期間が当該年度に及ぶものについて年度別に記載する。

(被 害)

果樹区分	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	$\frac{\text{共 済 金}}{\text{共 済 金 額}}$
	人	kg	円	%
なし	77	276,582	22,048,610	5.5

【被害状況】

[なし]

4月2日に管内全域において、降霜により新高、にっこり等の雌しべが黒変し、着果不良等の被害が発生した。また、5月27日には下妻市、八千代町、6月3日には、筑西市、下妻市、八千代町において、降雹により幸水等全品種の果実に裂傷、すれ傷等の被害が発生した。7月には、常総市において虫害により果実が凹凸になったり、変形する被害が発生した。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
なし	12月20日	22,048,610	20,595,651	1,267,816	185,143			100

(4)家畜共済関係

(引受)

項目		有資格 頭数	事業計画 頭数 (a)	引受 頭数 (b)	計画 達成率 (b)/(a)	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	納入 保険料 (B)	交付金	手持 共済掛金 (A)-(B)
区分										
死亡 廃用 共済	搾乳牛	頭 1,733	頭 2,030	頭 2,196	% 108.2	円 448,091,800	円 12,230,396	円 7,338,225	円	円 4,892,171
	繁殖用雌牛	504	530	561	105.8	118,474,200	622,327	373,390		248,937
	育成乳牛 (子牛等)	519	840 100	1,012 125	121.0	211,862,200	642,614	385,566		257,048
	育成・肥育牛 (子牛等)	8,648	12,000 200	13,105 268	109.6	1,856,936,400	1,330,262	798,140		532,122
	繁殖用雌馬									
	育成・肥育馬									
	種豚	11,897	9,900	9,886	99.9	397,165,300	1,547,105	1,031,394		515,711
	肉豚	110,150	78,900	77,643	98.4	800,092,000	61,841,066	41,227,368		20,613,698
	種雄牛									
	種雄馬									
	計	133,451	104,500	104,796	100.3	3,832,621,900	78,213,770	51,154,083	0	27,059,687
疾病 傷害 共済	乳用牛	2,252	1,900	2,120	111.6	39,734,109	10,095,976	6,057,574		4,038,402
	肉用牛	9,152	2,900	3,142	108.3	31,146,020	9,347,319	5,608,381		3,738,938
	一般馬									
	種豚	11,897								
	種雄牛									
	種雄馬									
	計	23,301	4,800	5,262	109.6	70,880,129	19,443,295	11,665,955	0	7,777,340
合計	133,451	109,300	110,058	100.7	3,903,502,029	97,657,065	62,820,038	0	34,837,027	

(注) 子牛等については、事業計画頭数、引受頭数のみ記載し、その他の欄については育成乳牛及び育成・肥育牛に含めて記載する。

(事故)

区分	項目	死亡廃用共済			
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
		頭	頭	頭	円
	搾乳牛	75	13	88	17,090,198
	繁殖用雌牛	8	1	9	2,845,400
	育成乳牛 (子牛等)	3 15	0	18	1,352,830
	育成・肥育牛 (子牛等)	8 39	4	51	5,228,427
	繁殖用雌馬				
	育成・肥育馬				
	種豚	23	3	26	1,408,836
	肉豚	11,203	0	11,203	102,388,501
	種雄牛				
	種雄馬				
	計	11,374	21	11,395	130,314,192

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金
		件	円
	乳用牛	2,085	24,008,554
	肉用牛	1,133	16,752,709
	一般馬		
	種豚		
	種雄牛		
	種雄馬		
	計	3,218	40,761,263

(注) 子牛等については、死亡頭数の欄のみ記載し、その他の欄については育成乳牛及び育成・肥育牛に含めて記載する。

【事故発生状況】

〔乳用牛〕

死亡廃用共済では、106頭、支払共済金1,844万円となり、循環器病による原因が事故頭数全体の3割を占めた。疾病傷害共済では、2,085件、支払共済金2,400万円となり、生殖器病が支払件数全体の4割を占めた。

〔肉用牛〕

死亡廃用共済では、60頭、支払共済金807万円となり、新生子異常による原因が事故頭数全体の4割を占めた。疾病傷害共済では、1,133件、支払共済金1,675万円となり、呼吸器病が支払件数全体の5割を占めた。

〔種豚・肉豚〕

種豚の死亡廃用共済では、26頭、支払共済金140万円となり、呼吸器病による原因が事故頭数全体の3割を占めた。肉豚については、11,203頭、支払共済金1億238万円となり、循環器病、火災、落雷が主な原因となった。

(損害防止)

一般損害防止事業を実施し、共済事故の未然防止並びに事故拡大防止に努めた。

区分	項目	実施期日	実施頭数	重点事項	経費	摘要
	特定損害防止					
	一般損害防止 (予防衛生措置)	4月から3月	39,818	予防衛生・消化器予防対策・ 内外寄生虫駆除等	1,857,808	連合会 1,463,970 組合 393,838

〔乳用牛〕

ボバクチン、ビオスリー等の配布による予防対策を行った。

〔肉用牛〕

エコメクチンの散布、固形カウストン、ビオスリーの配布による予防対策を行った。

〔種豚・肉豚〕

各種殺菌剤の配布による予防対策及びPED対策として消石灰の配布を行った。

(5) 園芸施設共済関係
(引 受)

項目 施設区分	組合 員数	引受 棟数	引受 面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)-(B)
	人	棟	a	千円	千円	円	円	円
ガラス室Ⅰ類								
ガラス室Ⅱ類	25	43	303	426,775	359,901	318,043	211,672	106,371
プラスチック ハウスⅠ類								
プラスチック ハウスⅡ類	1,880	10,692	27,695	8,915,212	7,228,176	55,904,457	34,462,573	21,441,884
プラスチック ハウスⅢ類	186	255	3,322	1,747,598	1,352,018	5,434,519	3,425,723	2,008,796
プラスチック ハウスⅣ類甲	289	461	4,843	4,770,111	3,694,407	8,475,934	5,257,242	3,218,692
プラスチック ハウスⅣ類乙	41	61	860	778,445	629,707	519,062	361,706	157,356
プラスチック ハウスⅤ類	20	35	1,074	3,554,631	3,413,346	4,277,335	3,232,365	1,044,970
プラスチック ハウスⅥ類	12	22	58	14,814	11,334	236,988	150,014	86,974
プラスチック ハウスⅦ類	82	196	4,984	219,224	175,381	593,863	358,858	235,005
合 計	(延) 2,535	(延) 11,765	43,139	20,426,810	16,864,270	75,760,201	47,460,153	28,300,048

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共済金 共済金額	
	組合 員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	施設内 農作物	撤去 費用	復旧費用			合 計
									特定園芸施設	附帯施設		
ガラス室Ⅰ類				円	円	円	円	円	円	円	%	
ガラス室Ⅱ類												
プラスチック ハウスⅠ類												
プラスチック ハウスⅡ類	118	425		25,768,581	4,268,746		16,482,285	84,876		20,835,907	0.3	
プラスチック ハウスⅢ類	8	8		1,278,051	209,694		812,744			1,022,438	0.1	
プラスチック ハウスⅣ類甲	10	12	1	4,560,943	52,535	160,000	3,436,216			3,648,751	0.1	
プラスチック ハウスⅣ類乙	3	3		873,501	698,800					698,800	0.1	
プラスチック ハウスⅤ類	2	3		693,697	554,956					554,956	0.0	
プラスチック ハウスⅥ類												
プラスチック ハウスⅦ類	3	4		169,983	135,984					135,984	0.1	
合 計	(延) 144	(延) 455	1	33,344,756	5,920,715	160,000	20,731,245	0	84,876	0	26,896,836	0.2

【被害状況】

風害による被害は、96戸、106棟、467万円の支払いとなった。特に5月21日の突風では、2戸、3棟、施設本体、被覆材の被害で89万円の支払いとなった。また、施設内農作物の被害では、小玉スイカにホモプシス根腐病、抑制栽培トマトでは黄化葉巻病等が発生し、34戸、316棟、1,888万円の支払いとなった。

(支 払)

手持共済掛金	既経過共済掛金	責任準備金繰入額	責任準備金戻入額	当期手持共済掛金
円	円	円	円	円
28,300,048	9,550,882	18,749,166	20,670,981	30,221,863

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
	保 険 金	手持共済掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
26,896,836	21,517,287	5,379,549				100

(6) 建物共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	棟数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1棟当たり
総合	6,090	8,120	9,640,834	182,679,274	64,454,280	1,583	1,187
火災	30,596	62,936	72,914,084	382,148,777	312,229,400	2,383	1,159
合計	(延) 36,686	(延) 71,056	82,554,918	564,828,051	376,683,680	2,250	1,162

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	棟数			
391	411	564,285	370,273,648	

【被害状況】

前年度実績から支払戸数で22戸、支払共済金については1億439万円の支払増となった。事故別では火災による支払共済金が3億184万円と全体の81.5%を占め、フォークリフト等によりシャッターを破損する事故が前年より3.4倍と増加しており1,204万円の支払いとなった。

(7) 農機具共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	台数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1台当たり
総合	4,094	15,885	4,754,571	234,879,461	54,775,062	1,161	299
火災	2,390	4,369	461,134	3,977,883	889,939	193	106
合計	(延) 6,484	(延) 20,254	5,215,705	238,857,344	55,665,001	804	258

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	台数			
673	753	293,519	172,561,187	

【被害状況】

支払対象台数は、機種別でトラクター162台、ロータリー193台、コンバイン116台の3機種で全体の62.5%を占めた。支払共済金については前年度対比1,853万円の支払減となった。事故別では接触・衝突6,788万円、稼働中の事故6,397万円となり、盗難等は5台77万円の支払いとなった。

(8) 保管中農産物補償共済関係

(引受関係)

種別	加入		共済金額	共済掛金		平均共済金額	
	戸数	口数		純共済掛金	賦課金	戸当たり	1口当たり
Aタイプ (一時保管)	10	10	1,000	17,500	7,500	100	100
Bタイプ (通年保管)	2	2	200	9,100	3,900	100	100
合計	(延) 12	(延) 12	1,200	26,600	11,400	100	100

(事故関係)

事故		加入共済金額	支払共済金	備考
戸数	口数			
0	0	0	0	